

位

四年 画数 7
 筆順 イ 亻 位
 オン イ 位
 フン くらい

成り立ち



「人」の形を表し、「人」の意味を表した「イ」と、人が立っている形を表し、「立つ」という意味を表した「立」とを組み合わせて作った字で、「人の立つところ」という意味を表した字です。

役所では、人びとがあつまるばあい、身分によって立つところがまっていますから、その人の立つところを見れば、その人の身分がわかります。それで、「身分」のことを「位」というようになりました。身分は段階のように高さがじゅんばんにならべられていますので、「位階」または「階位」といいます。

また、「場所（位置）」や「方角（方位）」の意味にもつかわれます。

使い方

▽むかし、藤原道長という人は、大臣の位にあつて、絶大な権力をふるいました。
 ▽この位置からは、ぼくの家は見えません。

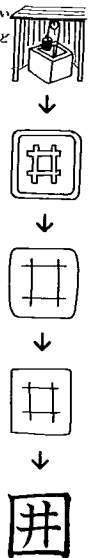
熟語例

- ▽位階（位。身分。てがらのあつた人に、さずけられる位のことです。何段もの位があつたので「位階」というのです。）
- ▽位置（場所。いる（ある）所。「今、机のある位置には、前には、本棚が置いてあつた」などというふうに、つかえます。）
- ▽方位（方角。東西南北のこと。「ここから、市役所の方位をしらべると、だいたい東南にあたる」などというふうに、つかえます。）
- ▽地位（位。身分。「高い地位について、満足した」などというふうに、つかえます。）
- ▽高位（高い地位。「高位の人が、指導権をにぎる」などというふうに、つかえます。）
- ▽皇位（天皇の位。「明治天皇が皇位につかれたのは、まだ、お若い時だった」などというふうに、つかえます。）

囲

四年 画数 7
 筆順 冂 冂 冂 冂
 オン イ
 フン かこりうりむ

成り立ち



井戸（地面をほって水をくみあげるようにしたもの）の形を表した「井」と、これに「かこい」の形をした「口」をくわえて作った字で、「井戸を「かこう」ことを表した字です。「かこむ」とか「かこう」とかという意味を表したものです。例 包围、囲碁。

「まわりをかこう」ことから、「まわり」という意味にもつかわれます。例 周囲、四囲。

また、「かこわれたところ」の意味から、「かぎられた部分」という意味にもつかわれます。例 範囲。

〔旧字体は、「圍」で、囲う意味の「口」と章との形声字である。章は「衛」の意味（守る）を表しているとも考えられる。〕

使い方

- ▽わたしの家は、静かな住宅地に囲まれています。
- ▽敵の軍勢に包围されて、我々は、窮地におちいりました。

熟語例

- ▽包围（とり囲むこと。「軍隊は、ひしひしと、城を包围した」などというふうに、つかえます。）
- ▽囲碁（本当の碁のことです。白い石と、黒い石に分かれて、相手の石を囲い込み、多く囲った方が勝ちになる遊びです。）
- ▽周囲（ものまわり。「この大木の周囲は、三メートルもある」などというふうに、つかえます。）
- ▽四囲（四方のまわり、ということです。「周囲」ときたい同じ意味になります。「日本は、四囲を海にかこまれた島国です」などというふうに、つかえます。）
- ▽範囲（ある、かぎられた部分の中。「手のとどく範囲の雑草は、全部、抜いてしまった」などというふうに、つかえます。）